

俳句だより

作品提供
松前町文化協会
東し俳句会

青しぐれ七盛塚のしづもれり
山腹の朱塗りの社殿青葉潮

昌農内 井門 忠士

睡蓮やモネの写真はセピア色
ピアノ曲弾んでをりぬ梅雨晴間

昌農内 矢田 弘

降りしきる雨の明るき麦の秋
初咲きの白百合二本供へけり

筒井 横田 啓元

暮れてよりネオン眩しき鮎の宿
向かひ合ふ本屋文具屋走り梅雨

宗意原 村上 享生

仏法僧遠き山より五重奏
みどり児の瞳の中の初螢

松山市 柏木 保寛

四五人の海の男の夕涼み
八雲忌の母なる海に掌をひたす

浜 田邨 雅美

千年の仏に宿る雨蛙
十薬のはびこり一病免れず

筒井 水野 節子

藤椅子の背にもたれて見ゆるもの
首ひとつぬきんでてみる瑠璃薊

筒井 常盤美代子

空港の椰子の葉ゆるる夕立かな
飛行機の行く手を阻む雲の峰

出作 日野 武

水耕のトマトの味を丸かじり
灯台の上まで匂ふ花密柑

西古泉 中村 葉子

編集後記

2院制のあり方を問う声が聞かれる中、第20回参議院議員通常選挙が終了しました。年金改革及び自衛隊の多国籍参加問題を主な争点として選挙戦が繰り広げられましたが、2大政党制が定着し政権交代の可能性への道筋が出来るのか、注目された選挙でもありました。結果に対する評価は皆さん一人ひとりに委ねますが、相変わらずの投票率の低さには、国民が国政に対する自己責任を放棄しているようで、残念でなりません。政治に対する不信・不満・不安は各々あるでしょうが、そうであれば尚更のこと投票という権利を行使して、政治をチェックし意思表示をすることが有権者の義務ではないでしょうか。国政選挙は、県や市町村の地方選挙に比べて遠い存在のように思われますが、独立国としての主権と国民の安全・福祉を守るために、最も重要な選挙であることを再認識したいと思います。